

青島戦ドイツ兵俘虜収容所研究 投稿規定

編集部

- 1) 当研究誌の目的は、主として第一次世界大戦時のドイツ人・オーストリア人在日捕虜とその捕虜収容所の研究であるが、このテーマに関連があると認められる捕虜問題一般や日独交流史など、さまざまな視点からの投稿も受け入れる。
- 2) 締め切りは、9月30日とする。ただし、ページ数の増減のない範囲での変更は、10月15日まで認める。
- 3) 枚数制限は、1ページあたり35字×34行で50ページ以内(400字詰め原稿用紙に換算すると150枚弱)とする。各投稿者につき2本までの投稿を可とするが、その合計枚数が上記を超えてはならない。
- 4) 投稿様式は、MSワード・ファイルを使用し、原則として邦文横組みとする。A5判で1ページにつき35字×34行とし、フォントをMS明朝体(引用などの欧文はTimes New Roman)、サイズを9ポイントとし、余白は上18mm、下22mm、左右17mmずつとする。なお、この様式のテンプレートはドイツ館史料研究会Webサイト内の「青島戦ドイツ兵俘虜収容所研究」刊行会のページ(<http://www.dt-haus.org/journal/>)からダウンロードできる。
注は原則として脚注で、8ポイントのMS明朝体とし、引用などの欧文はTimes New Romanを使用する。本文中の注番号は、句読点の前につける。写真・図版などを挿入する場合は、それを含めた原稿を作成すること。目次に欧文題名をつけるので、投稿時にこれも付記すること。
- 5) 協力費を、投稿者は以下の要領で現金封筒にて当刊行会宛に送付すること。5ページ以下1,000円、6～10ページ2,000円、11～15ページ3,000円、16～20ページ4,000円、21～30ページ5,000円、31～40ページ6,000円、41～50ページ7,000円。
- 6) 投稿者への贈呈については、15ページ以下の投稿者に5部、16ページ以上の投稿者に10部とする。郵送料は原則として当刊行会が負担するが、国外の場合は投稿者に郵送料の一部負担を求めることもある。一般の販売価格は一部500円であるが、投稿者は上記規定の贈呈部数を超える部数については、一部300円で購入できる。この場合、投稿時に希望する部数を刊行会に通知すること。

7) 原稿送付先は、以下の通り。ワード・ファイルを USB メモリまたは CD など
で郵送するか、電子メールで添付ファイルとして送付すること。

「青島戦ドイツ兵俘虜収容所研究」刊行会 鳴門市ドイツ館内

〒 779-0225 徳島県鳴門市大麻町桧東山田 5 5 - 2

TEL : 088-689-0099 FAX : 088-689-0909

E-mail : info@dt-haus.org (ドイツ館史料研究会)

(不明の点があれば、このアドレスに問い合わせること。)

8) 掲載順序については、以下の原則に従う。カテゴリー別では、論文、翻訳、エッセー・短い報告など、の順とし、各カテゴリーの中ではすべての収容所に関連するものや全般的な捕虜の問題を扱ったものから、トピックス的なもの・各収容所を扱ったものという順序にする。また、連載物については同じカテゴリーの中で後の方に配置する。

9) 投稿予定の連絡については、6月30日までにテーマや分量の概略を文書か電子メールで編集部へ通知することが望ましい。ただし、この連絡は編集部の大まかな計画のためのものであるから、これがなくても投稿の権利を失うわけではない。この連絡に対しては、折り返し上記規定4)によるテンプレート(規定のフォントなどを含むワード文書のサンプル)を送付する。執筆は、このテンプレートに直接書き込んでおこなうことができる。

10) 著作権または人権(故人も含む)に触れる可能性のある場合には、訂正を求めることがある。